



年齢を重ねるにつれ、ものの「いのち」、「えにし」の不思議さを感じる。これまで多くの素晴らしい先人達から与えられたものを大切に、次の世代への橋渡しとして少しでも役立ちたいものである。



創業当時



現在

最近の社会状況を見るとき、宇宙の中の地球という星に住まわせて頂いている事を多くの人々は忘れていないかと心配である。元気なみどり、元気な地球を取り戻していくためには、若い力、女性の力、とりわけ主婦の力がこれからはいろんな意味で必要となろう。

以下に、これまでの経験を通じて造園に携わる者に必要と思われるキーワードをいくつか箇条書きにしてみた。これからの社会を担う皆さんにとって何かのヒントとなれば幸いである。

- ・ いろんな人とコミュニケーションしよう。
- ・ 赤ん坊からお年寄りまで誰からでも学ぼう。
- ・ ものごとをよく観察しよう。
- ・ 理屈よりまず行動しよう。
- ・ どんな変化にも柔軟に対応し、苦勞から逃げないで夢と情熱を持とう。
- ・ 当たり前のことを当たり前にやっていこう。
- ・ 人間は一人では生きられない、多くのものに生かされている自分を知ろう。
- ・ 人間も含めて自然ほど素晴らしいものはない。もっと花や樹と話をしよう。

都会のビルが輝くモニュメントになるか、墓標になるか、きらめく夜景が希望の光になるか、生きものの末路を弔うろうそくの火になるかはみんなの双肩にかかっている。私はこれまで造園は生きものを幸せにするものと信じてきたし、今もそう確信しているし、これからも生きものを愛し続けたい。一緒に頑張りましょう。明るく素晴らしい未来をイメージしながら・・・。

藤田好茂 (株)景観設計研究所 代表取締役

1938年生まれ。登録ランドスーパアーキテクトRLA。64年大阪府立大学農学部卒業後、72年、(株)テデプソ設計研究所設立。86年に現在の(株)景観設計研究所に社名変更、現在に至る。主な仕事にカナダ・アルバータ大学栗本日本庭園(日本造園学会賞)を始め多数のプロジェクトに従事。03年には黄綬褒章授賞。